

一生懸命、運動に取り組む 子どもの育成

大分県別府市立山の手小学校

全校児童数	560名(男子277名 女子283名)		
全クラス数	22	教職員数	43名
体育専科教員訪問学校数			1校
訪問校	別府市立境川小学校		
体育専科教員名		伊東雅弘	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

◆一生懸命、運動に取り組む子どもの育成

体育専科教員が入って4年目。体育の学習の流れも定着してきた。新体力テストでは、全種目の60.4%が県平均を上回っていた。そこで今年も引き続き体育専科教員による系統的な体育学習、日常的な体力づくりを行い、子どもたちが自ら挑む体育を目指し「一生懸命、運動に取り組む子どもの育成」に取り組むことにした。

2 取組の計画

① 体育学習での取り組み

- ・体育専科教員を中心にT T体制で体育学習に取り組む。ほとんどの単元でT1を担任にしてもらい、指導力アップも図る。
- ・授業の流れを示し、子どもに「次に何をやる」という見通しをもたせる。
- ・「今日、何を上手になるか」というめあてを持たせ、45分間、一生懸命取り組めるようにする。

② 日常生活での取り組み

- ・毎日、朝、中休み、50m走に取り組めるようにする。
- ・3学期は合わせてジョギング(マラソン)にも取り組んでいく。

Do：実践内容

1 体育活動の実践

(1) 体育専科教員と担任とのT T体制、少人数指導

多くの時間、T1を担任が行い、T2を体育専科教員が行う。特に、走り高跳び、ミニバレーボール、タグラグビーでは、担任が全体の流れを指導し、体育専科教員が技術的なアドバイスを行うようにしている。また、ボール運動では、2面のゲームを2人で分担し、ボールを持っていないときの動き等を指導している。

(2) 学習の流れ「45分間、フルに体育」

授業時間を有効に活用し、常に体を動かせるよう工夫し、基本的な学習の流れを「走る→①準備運動→②主運動→③ふり返り」とする。

- ①準備運動：音楽に合わせてストレッチ運動を行うようにする。
- ②主運動：「めあての確認→運動・学び合い→めあての立て直し→運動・学び合い」とすることで、子どもが主体的に運動に取り組めるようにする。
- ③ふり返り：学習カードに良かった点、反省点等を記録し、次時のめあてづくりのヒントとなるようにする。

2 毎日取り組む50m走

朝始業前と中休みの時間に、50m走に毎日取り組み、運動の基礎づくりにしている。学習カードに色を塗る等、個人で目標を立てやすくしている。学級のカードも使い、学級全体で取り組めるようにしている。

●工夫したこと(&苦労した点)

- ①T T指導で1時間目に体育専科教員がT1で授業の流れを見せ、2時間目以降を担当にT1をしてもらい、指導力アップを図っている。指導例として、指導の流れ、場の設定の工夫等をプリントにして紹介した。
- ②見合い・学び合い：走り高跳びの学習において、支柱を持つ役になった子を中心に、高くとぶコツを「ドン」「シュシューン」等の音を使ってアドバイスし合うことで、より高く跳べる動きづくりのヒントになった。
- ③学習カード：学び合いのヒントになり、自己評価やふりかえりに使うことができた。
- ③壁新聞：学習の様子の写真に吹き出しで、運動のポイントやコツ等を記入して掲示板に掲示し、学習のヒントにした。

Check：取組の成果

- ①校内のアンケート調査の結果では、全員の先生が、ポイントの置き方・オノマトペの使い方・指導のテンポ等、体育の授業の参考になったと答えた。特に、走り高跳び、タグラグビー、マット運動、キャッチバレーボール等をT1で行い、指導の実践をした。
- ②学習カードを使って、毎時間「めあて・ふり返り」を書かせ、運動を主体的に行わせたり、体を動かしている時間を増やしたりしてきた。校内で行っているアンケート調査の結果では、89%の子どもが運動を一生懸命した、76%の子どもが体育が好きと回答していた。
- ③今年度の新体力テストでは、全種目の75%が県平均以上になり、14%アップした。

Action：今後の課題

- ①体育学習の指導方法の工夫と、T T体制や少人数指導法の探求が必要である。授業の中に子ども同士の学び合いの場を仕組むことで、運動に対する興味、技能の向上がみられる。学び合いの仕組み方を工夫する。
- ②担任の指導力アップのため、授業の流し方、子どもへの指導の仕方等を体育専科教員と一緒に実践していく。(指導例をプリントにして紹介していく。)
- ③50m走のさらなる充実に向け、学級の係活動や、運動委員会の取り組みと関連させることも必要である。
- ④年間指導計画を見直し、より多くの種目を体験させることも必要である。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

休み時間に、外遊びをする子どもが増え、ボール遊びだけでなく、鉄棒・なわとび・長縄・一輪車・おにごっこ等の遊びも盛んに行われるようになった。

ゲーム「ゴール型ゲーム:タグラグビー」における 45 分間、フルに体育

走る → 準備運動 → めあての確認 → 主運動 (ゲーム1 → 作戦の立て直し → ゲーム2) → ふり返り



T1を担当・T2を体育専科教員

「タグラグビー」の指導者講習会 8.23



手をついてクルン!

手をしっかりつくよ!

うまくいきそうや!



タグラグビーは…!

フェイントをかけて!



兼務校の授業「タグラグビー」

運動のポイント

毎日の活動 50m走



タグをとって!

そっちに行ったよ!

ぬいて!

壁新聞

顔をつけて!

だるまうき!



毎日走るよ!

廊下に運動のヒントがいっぱい!

クラスのみんなで頑張るよ!